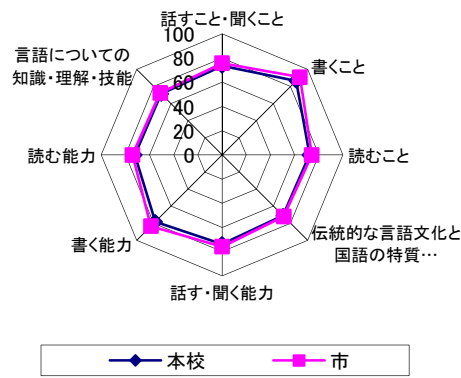


宇都宮市立西原小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	73.8	75.9	72.1
	書くこと	86.7	91.0	79.2
	読むこと	72.3	74.1	71.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.3	72.0	73.0
観点別	話す・聞く能力	73.8	75.9	72.1
	書く能力	78.3	83.3	72.2
	読む能力	72.3	74.1	71.1
	言語についての知識・理解・技能	71.4	72.5	72.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話す人の役割を理解して、立場を明確にして話し合うことの大切さを問う問題は、大変よくできていた。 ●記述式問題では、市の平均よりも低い結果となった。内容を聞き取ったうえで、出題の意図を理解するための聞く力の向上が求められる。	話し手の意図するところをしっかりと聞き取り、課題に合った答え方をすることが重要になってくる。普段の授業において、コミュニケーション活動を多く取り入れ、話す聞く活動を繰り返す中で、聞き取る力や表現する力を育てる支援を継続して実施していく。
書くこと	○指定された文字で文章表現をすることや意見と理由を区別して書くことなどは、よくできていた。 ●段落構成を考えて文章を書くことに関しては、市の平均よりも低く、書く活動の充実が今後の課題となってくる。	文章を書く際の構成について考えていくことで、段落構成を意識することにつながっていく。短い文章を継続的に書いていくことが構成力の育成につながっていくと言える。学校行事を終えたときや授業の中で、書く機会を数多く設定し、文章構成力の向上に努めていく。
読むこと	○説明文では的確な読み取りで、市の平均を上回り、論理的な文章に対して高い理解力を示した。 ●物語文での心情の読み取りや情報を読み取って書き方の工夫をする項目で、市の平均よりも低い数値になった。特に記述式でこたえる問題では正答率が下がっていた。	文章を読み取る際の重要なポイントとして、接続する言葉や段落構成、時間を表す言葉や情景描写を教え、さまざまな文章において共通する読み取り方を伝えると共に普段から読書へ親しむ習慣を身に付けさせ、確かな読解力の育成を行っていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字を書くことについては、5年生までの漢字学習がしっかりと身に付いていた。 ●漢字を読むことについては、読み方をを誤って覚えているものがあつた。	小学校のまとめとして既習の漢字を復習することを通して漢字力の定着を図っていく。漢字も繰り返して書くだけでなく、言葉として使えるように学習法も工夫して読みと書きの両面において一人一人が理解できるよう継続した指導を行っていく。